

富士山エコレンジャーの

魅力と今後

令和6年度ふじさんネットワーク総会において、3年ぶりに富士山エコレンジャー登録式を開催しました。新たな仲間を迎えた富士山エコレンジャーに、改めて富士山エコレンジャーの魅力と、将来への思いを語ってもらいました。

富士山エコレンジャー
 福原 みさよ 代表幹事
 鈴木 啓之 幹事
 齊藤 久美恵 幹事
 沢田 明宏 幹事
 橋本 光明 さん
 芹澤 明彦 さん
 高橋 靖典 さん
富士山エコサポーター
 佐野 有司 さん

「富士山エコレンジャー」は、富士山を訪れる人に対し、マナー啓発等を行い、富士山憲章の周知・定着、富士山の自然環境保全や継承を図るボランティア活動を行っています。
 富士山エコレンジャーになるには、「富士山エコサポーター」に登録し、富士山エコレンジャー養成研修を受けた後、富士山エコレンジャーの承認を受けて「富士山エコレンジャー」に登録されます。



新規エコレンジャーの高橋さん。損保業を営む傍ら活動をしている。

前日の日中の暑さから一転、ようやく秋らしく気温が下がったある日、富士宮市粟倉にある「富士山環境交流プラザ」に富士山エコレンジャー、富士山エコサポーターが集まりました。

「まず、今年度新規エコレンジャーとなった高橋さんにお話を伺います。そもそも、何がきっかけでふじさんネットワークに入会したんですか？」

高橋 靖典さん(以下、高橋) はい。私の本業は損害保険業務の代理店です。私の息子が昔ボーイスカウトに入っていた頃に自然に触れ合う機会がよくありまして…。そんな

中、富士山に初めて登山をしたのがちょうど40歳の時です。その時はまだ登山の経験や知識も少なく、初めて富士山に登ったときは生憎高山病になってしまいました。
 — そうだったのですか！

高橋 しかしその後は、近隣の山々に一人でも上るようになって、山に対する知識や経験を徐々に積んでいきました。富士山にも改めてチャレンジしましたよ。もともと自然や世界文化遺産に興味があり、一緒に御殿場ボランティアガイド協会を運営していた芹澤さんから「ふじさんネットワークに入って富士山エコレンジャーになってみないか？」とお誘いを受けて、ふじさんネットワーク

に入会しました。
芹澤 明彦さん(以下、芹澤) はい。私が御殿場市のボランティアガイド協会の活動を通して、登山の経験も豊富で自然や富士山にも造詣の深い優秀な高橋さんをスカウトしました(笑)
 (会場一同 笑いが起きる)
 — 損害保険業ということでお仕事はお忙しいと思いますが、ふじさんネットワークの活動との両立はできていますか？

高橋 はい。おかげさまで。損保業務は今でも続けています。両立して活動しています。
 — それはありがとうございます。
 他に高橋さんが、ふじさんネットワークに入会してどのような活動をされているか、また活動を通して、何か感じたことなどありましたら教えていただけますか？

高橋 はい。やはり自然環境保全が大事なことだと思えます。まずはゴミ拾いでいいのかなと思ってます。山に行くときと気づくんですね。変化がわかります。登山道のゴミはだいぶ減ってきているように思いますが、駐車場にはゴミ、とくにベトポトルなどは散見されますね。

あと今年も富士山に登ったときに外国人の方が多く登山しているのはみなさんもご存知だと思いますが、ロープを外れて(規制柵を外

れて)登っていたりして。やはりルールとして決められている登り方っていろいろありますから。
 (会場一同 首を振って頷く)
 — その時はどうしたのですか？

高橋 はい。私も富士山エコレンジャーとして、気づいたことはちゃんと登山者のみなさんにお伝えしました。ちゃんとロープ内に入って登ってくれました。

— 拍手。うわあ良かった。ありがとうございます。高橋さんありがとうございます。それではここからは皆様にもふじさんネットワークへの入会経緯やご自身の活動についてお話を伺いたいと思います。それでは座っている席順で、佐野さんお願いします。



富士山環境交流プラザ



佐野 有司さん
富士山エコサポーター

佐野有司さん(以下、佐野) はい。私は退職間近の時にこの先どのようなことをしていこうかと思ひ、子どもの頃から慣れ親しんだ富士山のゴミ問題のニュースをたまたま見たんですね。その時に美しい富士山の自然環境を守っていく活動に共感し、まずは富士山周辺のゴミ拾いの活動をしていて富士山の自然を守る会にも所属しています。それから富士山エコサポーターになりました。

——ありがとうございます。活動状況はどのような感じですか？
佐野 私も富士山や山に行ったときには必ずゴミを拾います。また先程高橋さんが言った、柵が壊れて歩道が崩壊している箇所は、自分目線で見逃さずに県に報告しています。今日もパトロールの中で話がありました。

——そうですね。いつもご報告ありがとうございます。やはり変化や気づきは大切なことだと思います。今後もしよろしく願います。沢田さんはいかががでしょうか。



沢田 明宏さん
富士山エコレンジャー幹事

沢田明宏さん(以下、沢田) 私は平成31年3月に住友林業を退職後、住友林業が運営する富士山「まなびの森」の管理人となって入会しました。住友林業がそもそもふじさんネットワークの幹事なので縁があつて富士山の自然に関わる活動をしています。富士山に登つてはいませんが(笑)

(会場) 同 笑いが起きる。
沢田 富士山は崇め、尊ぶ山です。職場から、自宅のある千葉から、あるいは実家のある関西への往復の途中で、綺麗な富士山を見るときいつも「ラッキー！」という気持ちになりますよ。
——そうですね。よくわかります。活動状況はいかががでしょうか。
沢田 富士山エコレンジャーの協力のもと外来植物の駆除をしましたね。セイヨウタンポポやヒメジヨオンを令和元年の夏過ぎからおそらく1万本は抜きました。
(会場) 同 おおつ。すごい。
沢田 外来植物によって現植生の入るスペースが減つてしまふんですね。

少なからずゴミを見つけたらするので、ゴミの問題を何とかしたいかなければならないと思います。
——やはり富士山のゴミの問題は、みなさん同じように感じていらつしやいますね。芹澤さんはいかががでしょうか。



芹澤 明彦さん
富士山エコレンジャー

芹澤明彦さん(以下、芹澤) 私がふじさんネットワークの事業、特にエコレンジャーの活動に興味を持ち活動を始めたのは11年前です。当時、総会に参加して気づいたのは、活動の中心がほとんど富士山・富士宮の方たちだったこと。我々の北駿地域や駿東地域も同じように富士山の恵みを受けているのと同じように盛り上げたいと活動しています。それから山梨県・山梨県の団体との連携は必要だと思ひますね。現状、富士山の登山のルールや登山者への対応は静岡県・山梨県で対応が分かれている部分もありますから。課題は同じはずなので行政でカバーしきれないところがあれば、山梨県や山梨で活動する団体と連携してふじさんネット

ワークを大きくしていけるのではないのでしょうか？
——ありがとうございます。地域によらず富士山麓の市町全体で盛りあがると嬉しいですね。では、橋本さんお願いします。



橋本 光明さん
富士山エコレンジャー

橋本光明さん(以下、橋本) 私も沢田さんと同じ住友林業に勤務し、普段は東京の事務所働いていて富士山「まなびの森」を管理している部署に所属している関係で入会しました。もともと自然が好きで富士山をすぐく身近に感じています。ゴミの問題ですが最近はいぶがゴミが減ってきたように思ひますね。ただ開山期には先程言つていたようにペットボトルなどのゴミが落ちていたりする。改めて継続して富士山のゴミ拾いを進め、富士山エコレンジャーとしてのレポート報告と、登山者の皆さんへの啓発をします。
——ありがとうございます。福原さんはいかががでしょうか。
福原みさよさん(以下、福原) 私は山登りが趣味で車椅子の人たちと富士山に登つたり、富士山の小学



福原 みさよさん
富士山エコレンジャー代表幹事

校の親子富士登山のサポートをしていました。富士山の自然環境保全に取り組む為に入会しました。大きなゴミについてはなくなってきたなと思ひますが、登山道にある小さなゴミに気づきます。私は登



富士山の魅力と今後を忌憚なく意見交換した。

山時には常に腰にゴミ袋をぶら提げていて小さなゴミを必ず拾っています。他の登山者の方に見えるようにゴミ袋をぶら提げていますよ。気づいてもらえるといいなと思って。(会場一同)笑い。

— そのとおりですね。エコレンジャーの皆さんが継続することで登山者の皆さんの意識が変化するのを期待します。ありがとうございます。

福原 あと富士山のトイレの問題。これは大変気になります。他の山では匂うことはないのに富士山では少し匂う。他の地域の山では入山者数の規制や山に合った登山道の整備などの工夫で快適に登山ができる山があります。富士山にはまだまだ課題もありますが、一緒に考えて良い知恵を出していけたらと思います。

— そうですね。外国の方も訪れるようになって和式トイレではなかなか利用は難しいし、快適なトイレ設置や携帯型トイレの持参などの啓蒙も必要ですね。ありがとうございます。斎藤さんはいかがでしょうか。



齊藤 久美恵さん
富士山エコレンジャー幹事

齊藤久美恵さん(以下、齊藤) 私は県の行事に参加し、環境エコサポーター、草刈り活動、環境保全など様々な活動を経験していました。富士山は登る度に新しい発見があり大好きな山ですね。今後も活動していくなかで、やはり行政と民間の結びつきがもっと強くなればと思います。またふじさんネットワークの活動をもっと大きくしていくには、未来を担う子どもたちと一緒に活動していくことが大事なことではないでしょうか。

— 子どもたちを巻き込んで活動することは確かに大事ですね。ありがとうございます。鈴木さんお願いします。



鈴木 啓之さん
富士山エコレンジャー幹事

鈴木啓之さん(以下、鈴木) 私は平成22年ぐらい、きっかけは静岡県広報誌でした。富士山は登山するだけの山ではなく、富士山周辺の植生豊かな自然を楽しむブームも起きています。また私はITエンジニアをしています。この富士山エコレンジャーの活動にもITの力を活用出来ないかと考えています。

例えば小型カメラ(ウェアラブルカメラ等)を付けて、パトロールに出れば、登山道がどのような状況か映像で理解できるしGPSで座標も取れる。クラウドに上げてメンバーで共有すれば報告や改善点の共有ができます。そうすると今までの事務的な作業が減ってだいぶ効率化できます。あと先程の山梨県との連携ですが、行政ではなかなか難しい部分はこれからふじさんネットワークの活動を活発にしていくなめにも、連携が必要になってくるのではないかと考えています。是非、今後の活動のなかで取り組んでいければと思います。

— そうですね。AIやITなどの技術を活用することは、大変良いことだと思います。富士山の自然環境保全活動を共に進めていくことで、ふじさんネットワークの更なる活性化に繋がります。皆さん、今後もしもふじさんネットワークへの積極的な参加と富士山エコレンジャーの活動をどうぞよろしくお願いします。本日は貴重なお話をありがとうございます。ごさいました。(参加者一同、拍手)



富士山環境交流プラザのテラスにて記念撮影。

富士山エコレンジャー、富士山エコサポーターのお話、いかがでしたか。皆さんのお話、思いを受けて、「富士山エコレンジャーの活動を見てみたい!」「富士山の環境保全に関する勉強がしたい!」と思われた方には、学習会や富士山エコレンジャーの活動について情報提供致しますので、是非事務局まで御連絡ください。

富士山エコレンジャーに関する
お問合せ

ふじさんネットワーク事務局
電話 054-221-3498
(静岡県くらし・環境部環境局
自然保護課内)

ふじさんネットワーク

検索